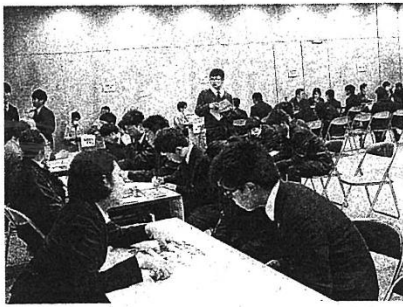


# 地元で就職魅力PR

## 丹波篠山・丹波市 高校生対象に

高校生に地元への就職を積極的に考えてもらおうと、丹波篠山市と丹波市で様々な試みがなされている。売り手市場になっているなか、市外への流出に危機感が高まっている。



以前開催された「丹波篠山 幸せしごとフェア」2019年4月、丹波篠山市提供

## 高校生対象に

センター（同市黒岡）で市内に在学、在住する高校生に向けた就職フェア「丹波篠山 幸せしごとフェア」を開く。市内や隣の丹波市に事業所を置く約40社が参加する。

午後4時から、高校生や保護者を主な対象に面接会が開かれる。企業はブースを設置して対面で魅力をアピールする。市内に住むが市外の学校に通う高校生も参加できる。問い合わせは同市創造都市課（079・552・5106）。

丹波市は、市内での就職を考える学生向けの2022年度版「企業ガイドブック」を発行した。市内に事業所がある137社が掲載

2022年4月26日

朝日新聞

されている。

採用など基本データのほかに、若手社員が仕事のやりがいを語るコーナーも。また市内に住む高校生と各社の若い社員が対談した様子も4ページにわたって載っている。高校生が「今、取り組んでおくべきこと」を質問したり、社会人が進路選択の経験や仕事で大切にしていることを語ったりしている。市商工振興課（春日町黒井）や各支所、ハローワーク柏原で冊子を手取できる。

少子化と定年退職者増

で、高校生では慢性的に採用予定数が就職希望者数を上回る状態という。また担当課によると、両市の高校生は卒業すると市外に転出する割合が高く、企業は若い人材の不足に悩んでいる。丹波篠山市の担当者は「職住近接で、子育てもしやすい。コロナ禍であっても密な環境になりにくい。地元で就職する魅力を少しでも伝えたい」と話す。